

令和4年度全国学力・学習状況調査結果（湖西市）

湖西市教育委員会

7月28日に、文部科学省は4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果を公表しました。調査結果について、全国の正答率と併せて、湖西市の子どもたちの様子をお知らせします。

1 調査の概要

- ◆目的 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◆実施日 令和4年4月19日
- ◆実施対象 中学3年生
- ◆調査内容
 - ・教科調査（国語、数学、理科）
 - ・生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

2 結果の概要（全国との比較）

教科	
国語	○
数学	◎
理科	◎

◎＝全国平均を上回る
○＝全国平均とほぼ同じ
△＝全国平均を下回る

質問紙	
国語への関心等	○
数学への関心等	△
理科への関心等	◎
やさしさ	○
たくましさ	◎
こころざし	◎

「湖西市教育振興基本計画」
における基本理念より

教科に関すること

○よいところ

教科	問題番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率（市）	正答率（全国）
国語	4二	○行書で書かれた習字作品を見て、漢字のバランスについて説明したものを選ぶ。	・行の中心がずれていることを捉える。	91.3	90.1
	4三	◎行書で書き直した習字作品を見て、平仮名の書き方について説明したものを選ぶ。	・漢字と調和するよう、線が連続することを意識して平仮名が書かれていることを理解する。	85.4	81.1
数学	2	◎連立二元一次方程式を正しく解く。	・連立二元一次方程式を正確に解く。	79.2	74.5
	5	◎容器のふたを投げたときに下向きになる確率を選ぶ。	・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味を理解する。	86.8	83.3

理科	1(2)	◎タッチパネルの反応に水が関係しているかを調べるために、条件を制御した実験を計画する。	・課題に対して変える条件と変えない条件を考え、同一の素材で水の有無に関するものを選択する。	81.5	78.5
----	------	---	---	------	------

△もう少しがんばりたいところ

教科	問題番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率(市)	正答率(全国)
国語	2三	◎農林水産省のホームページから、必要な情報を引用し、意見文の下書きに書き加える。	・自分の考えが伝わる文章になるように、資料から適切な情報を引用し、根拠を明確にして書く。	48.4	46.5
	4一	○行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものを選ぶ。	・行書の特徴を捉える。	38.9	39.4
数学	4	○変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ。	・一次関数の変化の割合の意味を理解する。	36.5	37.9
	9(2)	◎四角形と三角形が重なった図形について、ある人物の考えに付け加える形で説明文を完成させる。	・筋道を立てて考え、ある事柄が成り立つ理由を、必要な数学的表現を用いて説明する。	17.6	12.5
理科	5(1)	◎おもりに働く重力とつり合う力の矢印を選択し、その力について説明する。	・重力以外でおもりに加わっている力について、どこに加わっているのかを正しく見いだす。	24.2	15.3

◆成果と課題

国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の全てで、全国の平均正答率を上回っており、資質・能力がバランスよく身に付いていることが分かりました。また、自分の考えが相手に伝わるように、何をどのように工夫するかを記述する問題で、正答率が高かったです。

数学でも、ほぼ全ての領域で全国の平均正答率を上回っており、特に「数と式」の問題の正答率が高い結果でした。しかし、数学的な考え方を記述する問題では、「表、式、グラフの何を用いるか」と「問題解決のためにどう用いたか」を説明することに、課題のある生徒が多いことが分かりました。

理科では、化学反応式などの基本的な問題の正答率は高かったです。習った知識が日常生活でどのように活用されているのかについて考える問題については、正答率が低かったです。授業で扱った内容と条件が異なっていた場合に、学習した原理や法則を正しく当てはめて、その場面での規則性を説明することが苦手な生徒が多いことが分かりました。

◆今後の取り組み

湖西市では、各学校で6月までに「振り返り」を実施しました。

- 問題文を読み直し、問われていることを確認し、解答例について解説した。
- 苦手とした問題を復習し、同じ問題あるいは類似問題を解いた。
- 国語・数学の授業や、他教科の学習で、設問と似た学習場面を意識的に設定した。

★国語★

- ・問題文に条件を付け、その条件に合わせて記述する機会を増やす。
- ・友達や文学者の作品を鑑賞し、技法や書き方に着目する学習内容を設定する。

★数学★

- ・数学的用語を正しく理解し、自分の考えを説明する際に使えるようにする。
- ・データの処理方法やまとめ方について、考えを議論する活動を取り入れる。

★理科★

- ・学んだ知識が、日常生活のどのような場面で活用できるか気付けるようにする。
- ・生徒自身で実験の計画を立て、得られた結果の妥当性を考察する活動を取り入れる。

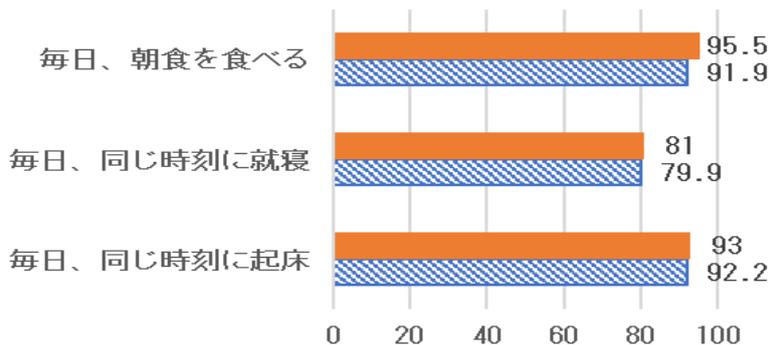
※今回の調査結果をもとに、各学校で改めて分析を進めています。それぞれの学校における実態を再度把握し、さらに授業改善を進めていきます。

質問紙調査に関すること

質問紙には、「家庭や学校の生活について」「学校での学習について」等、合計69の質問がありました。湖西市の子どもたちのよいところ、がんばりたいところを紹介します。

■湖西市 ■全国

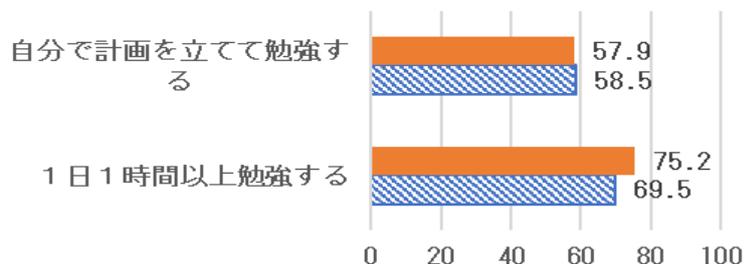
◎規則正しい生活



毎日朝食を摂り、十分な睡眠と休養を習慣付けることで、集中力が高まり、学力の定着につながります。

帰宅後の時間の使い方を決め、メリハリのある生活を送れるとよいです。今後も規則正しい生活が送れるよう、声掛けや見届けをお願いします。

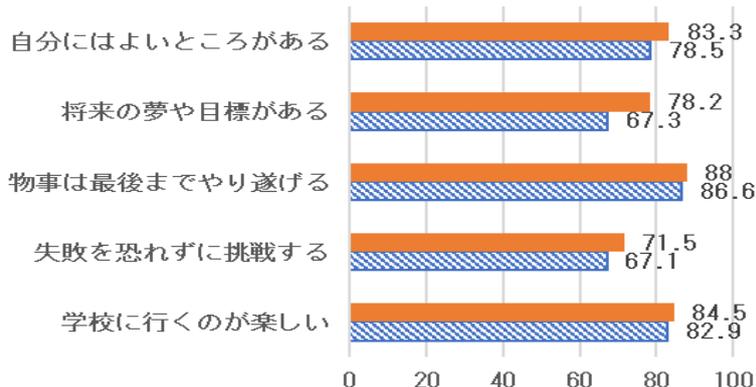
◎家庭学習に関すること



自分で計画を立てて勉強している生徒の割合は、全国平均と比べて低い傾向が見られます。テストなど、自分の実力を確かめる場に向けて、計画的に学習できるよう、指導していきたいと思います。

また、結果を踏まえて、学習方法や計画を修正する力も求められます。試行錯誤を繰り返しながら、自分に合った学習方法を見つけていきましょう。

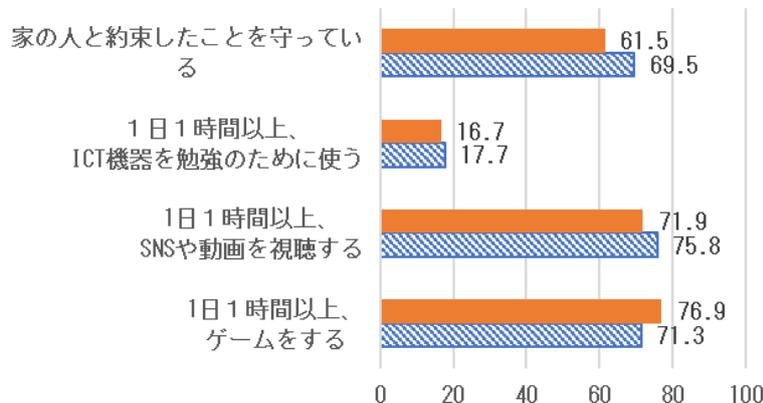
◎自分に関すること



8割以上の生徒が、自分のよさを認めています。家庭、学校、地域の大人が、いつも温かく見守ってくれているという安心感は、生徒の自己肯定感を高め、成長につながります。

自立に向けて、様々なことに挑戦し、ねばり強く取り組んでもらいたいです。

△ICT機器やメディアとの関わり



学校では、1人1台タブレットを使い、学習の充実を図っています。

家庭でも、学習や娯楽にICT機器が欠かせなくなっています。今回の調査では、SNSや動画視聴の時間が長いほど、全教科において、平均正答率が低い傾向が見られました。

また、1日のゲームが4時間以上と回答した生徒が12%もいることが分かりました。

使用する時間や場所、内容など、いま一度お子さんとルールを話し合ってみてください。

学びの基礎 7つの取り組み

愛情と思いやりのあふれる家庭づくり

湖西市では、「学びの基礎7つの取り組み」を発達段階に応じて設定し、推進しています。食事や運動、睡眠など、学びの基礎となるのは基本的な生活習慣です。学力調査の結果からも、生活習慣と学力の相関関係が出ています。今後も家庭と学校、地域が連携して、子どもたちの学びの礎を築いていきましょう。御協力をよろしくお願いいたします。

- ことばを大切に、自分の考えをもとう
- 健康な体づくりに努めよう
- 笑顔で気持ちよくあいさつをしよう
- 夢に向かって、いろいろな体験をしよう
- 規則正しい生活習慣を身につけよう
- 栄養バランスのよい朝食をとろう
- 家族と約束して、テレビやスマホ中心の生活を見直そう

調査問題や正答例を詳しく見たい方はこちら

